

勉強の前の勉強を始めよう～もう一つの学習サポート～

奥山もにか（兵庫県立北摂三田高等学校 HGLC）

序論

Q. 皆さん、こんなことありませんか

- ①勉強が分からない
 - ②そもそも勉強の仕方が分からない
 - ③勉強するも何も、生活するのに精いっぱい
 - ④大人として扱われるけど、大人としての礼儀とは何なのか分からない
- ②、③、④って、学校や塾では重点的に教えてくれない でもこれからの人生にとっても重要

Q. この問題、どうやって解決しますか

- ・たくさん調べて、時間をかけて解決法を探す
- ・機会をつくり、先生などに教えてもらう
- ・なあなあにして結局解決していない

重要なことなのに、手軽に情報を得られるわけではない →良くないのではないか

<2023年実施アンケート（北三2年生）有効回答数187.>

Q. 自分に合った勉強法をみつけられていますか。

→40.1%の人が”いいえ”と答えた

誰が教えてくれるのか

→講師を招くにはお金がかかる

→情報を持つ地域の方々に教えていただく

課題の考察

全日制高校生の中には勉強以前の上手に生き抜いていく方法や方法を学ぶことに悩んでいる人もいる

→勉強の前の勉強 勉強を教えるだけではなく、

もう一つの側面（スケジュール管理や整理整頓）で地域が勉強をサポートする

<活動概要>

- ・公共施設、空き家などで実施
- ・NPO法人やボランティア団体が開講する講座
- ・講師として、教職に就きたい大学生や地域の方々を招く
- ・講座内容の例

→スケジュールの立て方、整理整頓、など

（勉強の前の勉強）

<活動のメリット>

- ・高校生同士が触れ合う場になる
 - 気を許せる人を見つけられる
 - 高校生の居場所になる
 - 少しでも高校生活が楽しくなる
- ・世代の違う地域住民同士が触れ合う場になる
 - 新たな価値観に出会える

- 生徒の進路実現のサポートになる
- ・何かに没頭する機会になる
- その経験を高校生活（部活、勉強、進路）に生かせる

活動形態案

ここでは

- ・ボランティアの任意団体が活動を行う場合
 - ・NPO 法人が活動を行う場合
- の二つの想定をする（但し、この二つに明確な基準があるわけではない）

《ボランティアの任意団体が活動する場合》

<メリット>

法的な手続きは不要 比較的自由に活動できる 報告書なども提出する必要はない

<デメリット>

資金調達が困難 資産が個人所有になる など

《NPO 法人で活動する場合》

<メリット>

信用力が高い 法人として銀行口座などを開設できる 補助金が受けやすい 節税できる など

<デメリット>

法的な手続きが必要 法律に従って運営する必要がある 毎年の活動報告が必要 など

デメリットを解消するためには

- ・設立に時間がかかる
- ・毎年の活動報告が必要

これからわかるように、NPO 法人は活動を始めること、運営を維持することが難しい

しかし、法的に明確な基準がないボランティア団体ならば設立できるかもしれない

今後協力を募ってボランティアで活動していき、需要があれば法人にできるよう、活動の準備を進めたい

協力を依頼できる人

- ・地域の方々

→賛同を呼びかけるポスターなどを公共施設などに貼らせていただく

- ・他のNPO 法人の方々

→三田市内であれば場とつながりの研究センター立ち上げ相談や、設立してから様々な支援を受けることができる

参考文献

- ・ <https://www.doorkeeper.jp/blog/how-to-start-a-volunteer-organisation> - Doorkeeper
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/03/08/1360938_02.pdf - 厚生労働省
 - ・ <https://kotobank.jp/word/%E6%B7%BB%E6%9C%A8-553477> - コトバンク
 - ・ <https://batotsunagari.net> - NPO 法人場とつながりの研究センター
- この研究に携わっていただいた先生方、両親にこの場を借りて感謝申し上げます。